

編集後記：冬になると気になるもののひとつに南岸低気圧があります。

雪か雨かの予想が難しい上に、ひとたび雪になれば都市に混乱をもたらしてしまう南岸低気圧は、社会的な関心も高い存在であることは、「天気」読者であればご存じだと思います。2014年2月に関東地方を2回も襲った南岸低気圧による大雪被害は記憶に新しいところですよ。

雪の少ない土地に育った私にとって、子供のころは南岸低気圧による雪は楽しい「非日常」をもたらして

くれるものでした。雪遊びできるほどの大雪は1年に1回あるかないかでしたが、大雪の後にはいつも雪遊びをしていました。社会に出たいまは、南岸低気圧が来ると交通の混乱などの嬉しくない「非日常」に困らされるようになってしまいました。

この編集後記を執筆しているまさにいま、南岸低気圧の足音が聞こえてきています。大きな被害が出ないよう祈りつつ、今のうちに雪対策をしておこうと思います。

(中村 貴)